

国土交通省直轄工事における 総合評価落札方式の運用ガイド ラインの改定について



総合技術政策研究センター 建設マネジメント技術研究室
 室長 森田 康夫 主任研究官 岡野 稔 研究官 田嶋 崇志
 部外研究員 上西 泰輔 部外研究員 馬野 浩二 部外研究員 中村 啓史

(キーワード) 国土交通省直轄工事、総合評価落札方式、改善案、運用ガイドライン

1. はじめに

国土交通省直轄工事における総合評価落札方式の適用率は、ほぼ100%の状況である。一方、技術提案・審査に係る競争参加者・発注者双方の負担の増加、民間の技術力活用の理念からのかい離、品質確保の理念からのかい離などの課題も残されており、平成23年度末に現行方式の改善案が策定された。

改善案に基づく総合評価落札方式（以下「新方式」という。）の適用については、今年度、地方整備局等（北海道・沖縄含む。）で試行し、平成25年度から本格的な導入を図る。国総研では新方式の適正な運用を促すため、今年度、運用ガイドラインを改定したので、その概要を紹介する。

2. 運用ガイドラインの構成と概要

(1) 構成

本運用ガイドラインは、大きく、①総合評価落札方式の導入と改善の経緯、②新方式の実施手順等、③総合評価落札方式に係わる試行方式の概要、の3つの柱を軸としており構成骨子(章)を下表に示す。

表 運用ガイドライン構成骨子

3つの柱	構成骨子(章)
①総合評価落札方式の導入と改善の経緯	1. 総合評価落札方式の導入と改善の経緯
	2. 総合評価落札方式の実施手順
②新方式の実施手順等	3. 総合評価の方法
	4. 総合評価落札方式の結果の公表
	5. 総合評価方式落札方式の評価内容の担保
③総合評価落札方式に係わる試行方式の概要	6. 総合評価落札方式の試行等

(2) 概要

①総合評価落札方式の導入と改善の経緯

第1章では、今回の見直しにおける改善の方針や高知県内の入札談合事案に対する対応方針を示した。以下に改善方針の大きな柱である総合評価タイプの二極化の考えを下図に示す。



図 総合評価タイプの二極化

②新方式の実施手順等

第2章では、「施工能力評価型」と「技術提案評価型」について、段階選抜方式（試行）・配置予定技術者ヒアリングを踏まえた手続きフロー、競争参加資格要件と総合評価における設定項目の分類、技術提案評価型A型における技術提案の評価方法など基本的な実施手順を示した。第3章～第5章では、評価値や技術評価点の算出方法、評価・落札結果に関する公表方法、技術提案履行の確保に関する特記仕様書への記載方法など基本的な考え方を示した。

③総合評価落札方式に係わる試行方式の概要

第6章では、総合評価落札方式で試行している「段階選抜方式」などについて、対象工事や評価項目など基本的な考え方を示した。

【参考・関連するWEBサイトのURL】

詳細は、下記URLより建設マネジメント技術研究室のHPをご覧ください。

<http://www.nilim.go.jp/lab/peg/index.htm>